

水性塗料の条件ごとの塗膜厚測定検証

条件：①スプレーガン楽々ガン口径1.4吐出量3/半開きエア一圧 0.15MPa

被塗物との距離 15～20cm

使用塗料 シッケンズWB シルバーM

②工場内温度 13°C～14°C前後 スプレーガン吹出し温度 10°C～11°C

③テスト内容 ・静電塗装

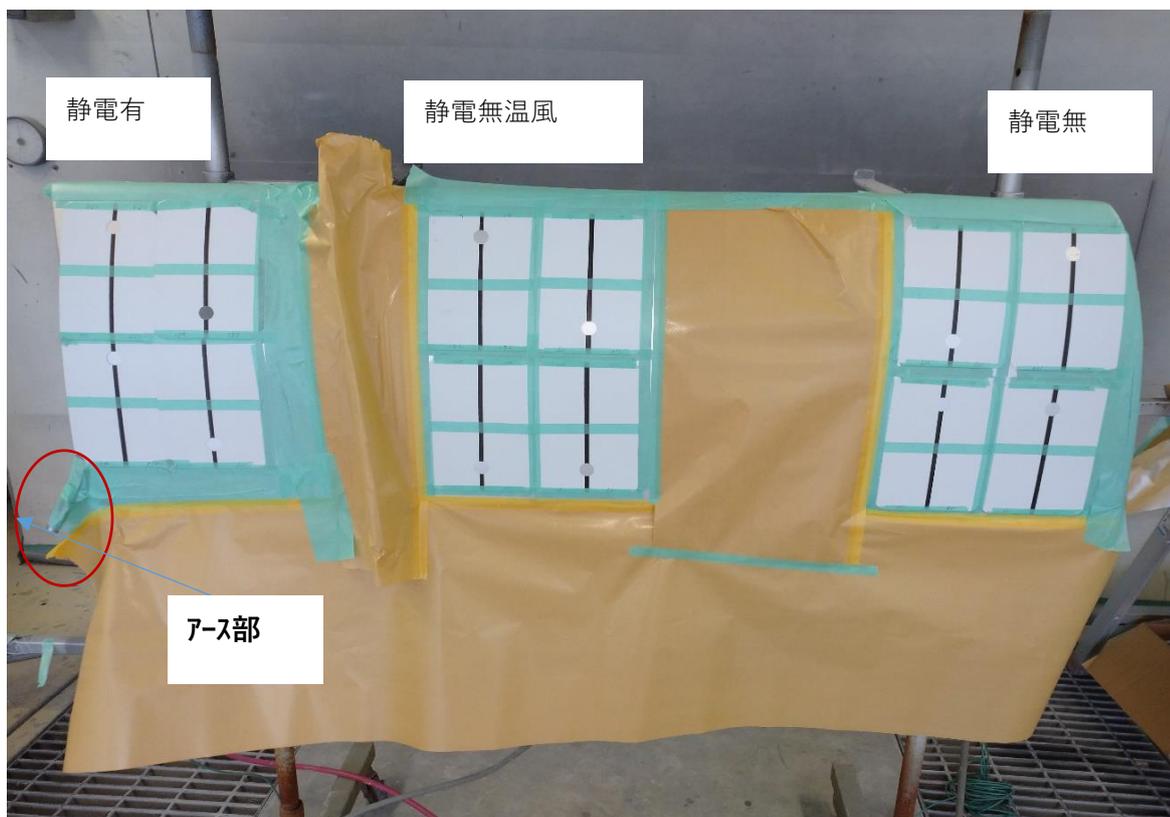
・静電塗装無

・静電塗装無温風ユニット使用 設定温度50°C ガン元温度34°C前後

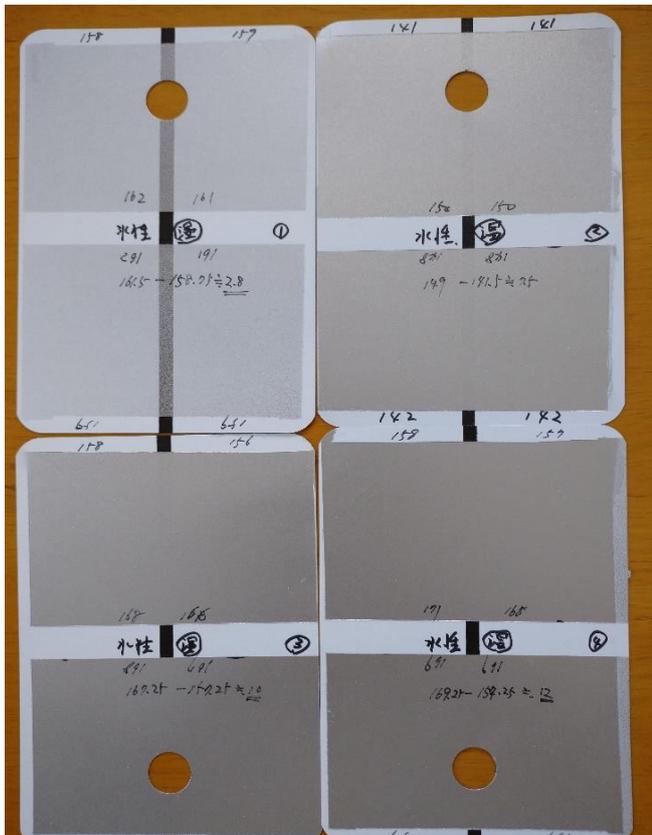
④試験パネル 下記の写真各項目ごとに4枚のパネルを使用。



塗装工程4回 ①パネ吹き ②色決め 一回目 ③色決め 二回目 ④面調整



試験結果：下記の写真から膜厚計ケットLZ-900 校正済み使用



水性温風あり塗板

一回目	バラ吹き	2.8	μ
二回目	色決め	7.5	μ
三回目	色決め	10	μ
四回目	面調整	12	μ

膜厚測定基準：各塗板を四つに区切り
事前に塗板の膜厚を測定（四ブロック
のセンター付近）し、その上に塗装
を施す。記載膜厚はその四点の平均値
を取り計算。



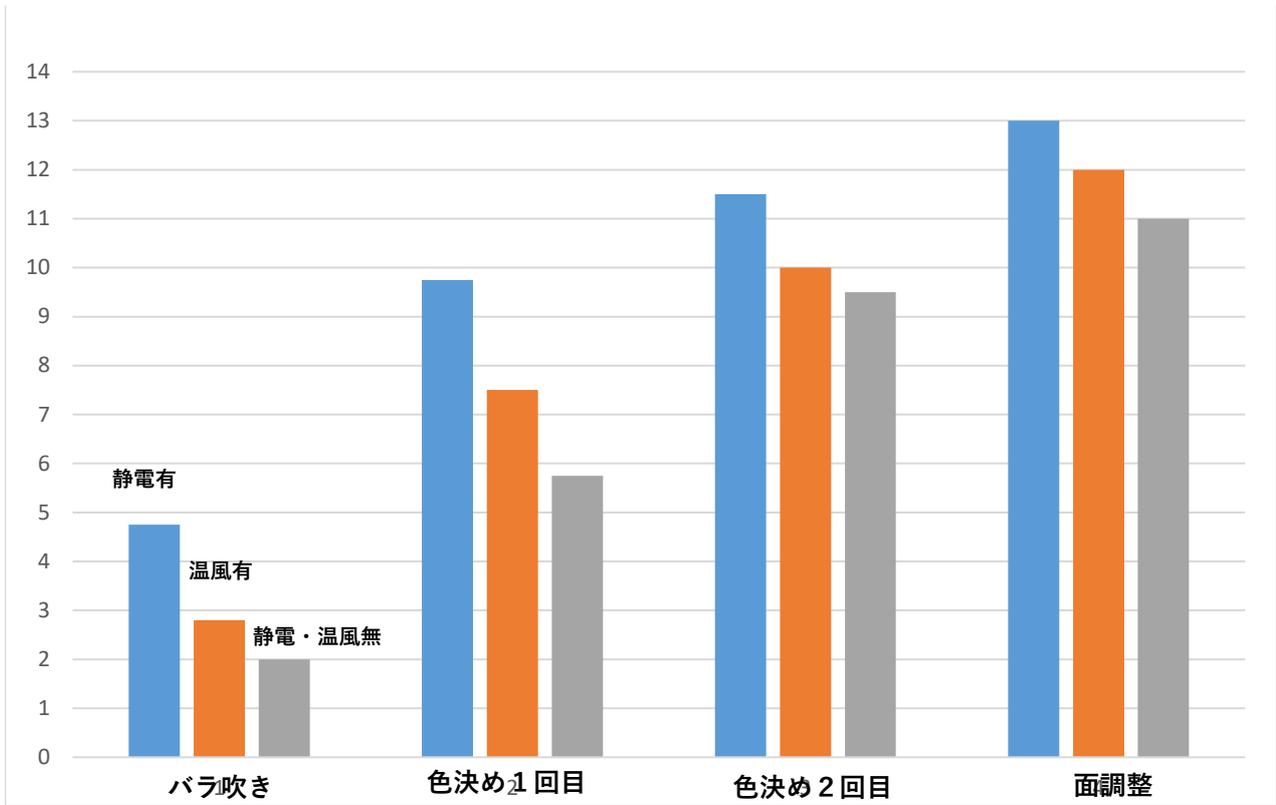
静電有

一回目	バラ吹き	4.75	μ
二回目	色決め	9.75	μ
三回目	色決め	11.5	μ
四回目	面調整	13	μ

膜厚測定基準：各塗板を四つに区切り
事前に塗板の膜厚を測定（四ブロック
のセンター付近）し、その上に塗装
を施す。記載膜厚はその四点の平均値
を取り計算。



静電・温風無



条件設定事のグラフ

